

芸術教養課程 履修系統図

ディプロマ・ポリシー DP1: 芸術の理論や歴史といった知見を学習し、自ら学ぶ力をもつ
 DP2: 芸術を深く研究することにより、自ら考える力をもつ
 DP3: 芸術の表現を磨き、自ら道をひらく力をもつ

学修到達目標	1年次		2年次		3年次		4年次
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期 後期
DP2: 自ら考える 諸芸術の最新情報や先端的な技術を学び、専門分野の未来へ向けた問題解決力を培う。					芸術総合講座Ⅰ 芸術総合講座Ⅱ 芸術総合講座Ⅲ 芸術総合講座Ⅳ 芸術総合講座Ⅴ 芸術総合講座Ⅵ 芸術総合講座Ⅶ 芸術総合講座Ⅷ		
DP1: 自ら学ぶ 諸芸術を支える文化と科学、芸術の根本的な性質や現代的な領域を多彩な角度から学び、芸術を専門として学ぶことに向けた基礎的教養を身につける。	自主創造の基礎Ⅰ 歴史と文化 知の探究Ⅰ ロゴスの探究Ⅰ エチカの探究Ⅰ 文学の世界Ⅰ 日本の先史文化と環境Ⅰ 法と政治 日本国憲法 社会現象の解説Ⅰ 芸術文化の経済Ⅰ 人間の心理Ⅰ 芸術と心理Ⅰ 数学的思考の探究Ⅰ 情報Ⅰ 自然科学Ⅰ 自然の探究Ⅰ ※1 日本の文化 美学Ⅰ 美学Ⅲ 芸術学Ⅰ 芸術学Ⅲ 芸術の思想と表現Ⅰ 音楽と情報 色彩の基礎 アートと教育 メディア・リテラシーⅠ	自主創造の基礎Ⅱ 知の探究Ⅱ ロゴスの探究Ⅱ エチカの探究Ⅱ 文学の世界Ⅱ 日本の先史文化と環境Ⅱ 法と政治 日本国憲法 社会現象の解説Ⅱ 芸術文化の経済Ⅱ 人間の心理Ⅱ 芸術と心理Ⅱ 数学的思考の探究Ⅱ 情報Ⅱ 自然科学Ⅱ 自然の探究Ⅱ 美学Ⅱ 美学Ⅳ 芸術学Ⅱ 芸術学Ⅳ 芸術の思想と表現Ⅱ 日本の芸能史 メディア・リテラシーⅡ	芸術特殊研究	芸術特殊研究 コミュニケーション	言葉のしくみ 芸術文化と福祉 モード論 民俗芸能文化論 シナリオ分析 東アジア世界の考古学Ⅰ → 東アジア世界の考古学Ⅱ 芸術と社会 形象文化論 表演芸術論 メディア芸術論 芸術理論研究		
	芸術と身体 Culture and Society	芸術と身体 Culture and Society	芸術理論演習 芸術批評演習 芸術リサーチ演習				
DP2: 自ら考える 諸芸術の様々な研究方法を身につけ、自分の考えを論理的に表現できるようにする。また、外国語で直接、文化・社会・芸術を理解できるようにする。							
DP1: 自ら学ぶ DP2: 自ら考える DP3: 自ら道をひらく 外国語を実践的に学び、運用能力を段階的に高める。異文化に触れ、思考力を磨き、理解を深める。海外の諸芸術分野でも活躍できるようにコミュニケーション力を養い、国際社会に貢献する。	英語Ⅰ 英語Ⅱ	英語Ⅲ 英語Ⅳ	英語Ⅲ 英語Ⅳ	英語Ⅲ 英語Ⅳ	応用英語Ⅰ 応用英語Ⅱ 応用英語Ⅲ 応用英語Ⅳ 実践ドイツ語Ⅰ 実践ドイツ語Ⅱ 実践フランス語Ⅰ 実践フランス語Ⅱ 実践イタリア語 実践中国語 ※1 実践日本語 韓国語 スペイン語 ラテン語		
	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ イタリア語Ⅰ イタリア語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ※1 日本語Ⅰ ※1 日本語Ⅱ	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ イタリア語Ⅲ イタリア語Ⅳ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ ※1 日本語Ⅲ ※1 日本語Ⅳ	※2 海外語学研修Ⅰ, 海外語学研修Ⅱ, 海外語学研修Ⅲ, 海外語学研修Ⅳ ※3 検定英語, 検定ドイツ語, 検定フランス語, 検定イタリア語, 検定中国語				
DP1: 自ら学ぶ 科学的、多角的視点から物事を考える方法を学び、生涯にわたって自己の健康を保持増進する力を養うとともに、芸術活動の主体であるヒト、身体への豊かな知識を身につける。	健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学					
	体育実技Ⅰ	体育実技Ⅱ	体育実技Ⅲ	体育実技Ⅳ	体育実技Ⅴ	体育実技Ⅵ	

必修科目
 選択必修科目
 選択科目

※1 留学生のみ履修可
 ※2 以下の制度を利用して海外研修等に参加し、所定の手続きを完了することで単位を認定します。
 ①日本大学が募集する海外交換・派遣留学制度、短期海外研修 ②芸術学部が募集する留学 ③認定留学
 ※3 検定試験による認定科目です。「単位認定基準」に従い、所定の手続きを完了することで単位を認定します。